

## 「流域治水の最前線シンポジウム - 温暖化時代の水害政策を求めて」

呼び掛け人 衆議院議員 荒井 聡 篠原孝 阿部知子 近藤昭一 大河原雅子  
参議院議員 嘉田由紀子

### <開催趣旨>

近年、温暖化の影響とも言える豪雨が多発し、これまでの自然制御型水害政策に大きな見直しが迫られています。そのときに有効であるのが、土地に根差した先人の知恵に学びながら、流域のリスクを正しく知り、広く知らせることで、河川の中だけでなく、人が暮らす流域の土地利用や建物づくり、避難体制などに工夫をこらす「流域治水」の仕組みです。当シンポジウムは、河川政策の歴史と思想を確認した上で、国や自治体で進む流域治水政策の現況と、住民の立場からのリスク対応の在り方もふくめた流域治水の最前線を学び、今後の行政や地域計画にひろげることを目的とします。折しも九州では7月上旬より、記録的豪雨により、多くの死者が出ております。亡くなられた皆さまのご冥福を心からお祈りさせていただくとともに、一日も早い復旧をお祈り申し上げます。国も現在、ハザードマップの普及も進めつつあります。立場をこえた、多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。尚、シンポジウムの動画を公開する予定です。

### 記

日 時 : 令和2年(2020年)7月22日(水) 14時~17時

場 所 : 参議院議員会館(1F)講堂(東京都千代田区永田町2-1-1)

- ・第一部：基調対談 高橋裕著「国土の変貌と水害」から50年 14時5分~14時45分  
~治水政策子弟三代から見る日本の河川政策の歴史と思想~  
大熊 孝 (新潟大学名誉教授)  
篠原 修 (東京大学名誉教授・政策研究大学院大学名誉教授)  
(進行：嘉田由紀子：参議院議員、前滋賀県知事)
- ・第二部：学会と行政の現場から 14時50分~16時30分(講演各25分)  
講演①土木学会(知花武佳東大准教授)「土木学会台風第19号災害総合調査団の提言にみる流域治水」  
講演②国土交通省水管理・国土保全局 河川計画課 河川計画調整室 斎藤正徳補佐(予定)  
「気候変動を踏まえた水災害対策について」  
講演③滋賀県庁(吉田秀範土木交通部長、速水茂喜流域治水政策室長)  
「滋賀県での流域治水条例制定と今後の課題」(仮題)  
講演④福知山市造成地水害訴訟弁護団(上田敦弁護士・浅井勇希弁護士)  
「京都府福知山市水害訴訟の原告勝訴が意味すること」(仮題)
- ・質疑応答

主 催 : 流域治水シンポジウム実行委員会(実行委員長 荒井 聡 衆議院議員)

協 力 : 公共事業チェック議員の会

連絡先：実行委員会事務局 参議院議員嘉田由紀子事務所(TEL 03-6550-0815 安部、五月女)

**【重要】新型コロナウイルス感染症対策のため、入場を先着100名様に限定させて頂く予定です。事前の申込みを頂いていない場合には、ご来場頂いても、入場をお断りさせて頂く場合がございますので、予め、ご理解を賜りたく、宜しく御願ひ致します。尚、当日は、マスク着用と適宜消毒を御願ひ致します。また、37.5度以上のお熱のある方のご出席はお控え頂きますよう、御願ひ申し上げます。**

\*誠にお手数ですが、ご出席希望の方は、下記申込書をご返信下さい。

(当日13:30より、参議院議員会館1F受付で入館証をお配り致します)

### 【 申 込 書 】

お名前 \_\_\_\_\_ ご所属 \_\_\_\_\_

ご住所(又は 議員会館部屋番号) \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_ E-mail \_\_\_\_\_ @ \_\_\_\_\_

**【返信先】 FAX 03-6551-0815**

# 基調対談 講師紹介

## 篠原 修 したのはら おさむ

GS デザイン会議 | EA 協会 会長 工学博士

1968 年 東京大学工学部土木工学科卒業

1971 年 東京大学工学系研究科修士課程修了

1971 年 (株)アーバン・インダストリー勤務

1975 年 東京大学農学部林学科助手

1980 年 建設省土木研究所研究員

1986 年 東京大学農学部林学科助教授

1989 年 東京大学工学部土木工学科助教授

1991 年 東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻教授

2006 年 政策研究大学院大学教授、東京大学名誉教授

最近の主な著書：

2003 年「都市の未来」（編、共著）、日本経済新聞社

2003 年「土木デザイン論」、東京大学出版会

2005 年「都市の水辺をデザインする」（編、共著）

2006 年「篠原修が語る日本の都市 その近代と伝統」

2007 年「ものをつくり、まちをつくる」（編、共著）

2008 年「ピカソを超える者は一景観工学の誕生と鈴木忠義」、技報堂出版



出典 エンジニア・アーキテクト協会HPより  
一部転載 (<http://www.engineer-architect.jp/member/list/124/>)

## 大熊 孝 おおくま たかし

新潟大学名誉教授・水の駅ビュー福島県名誉館長

NPO 法人新潟水辺の会顧問・日本自然保護協会参与

(財) こしじ水と緑の会 (理事)

1942 年台北生まれ、高松・千葉育ち、新潟市在住、1974 年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了（工学博士）、新潟大学工学部助手、講師、助教授、教授を経て、2008 年新潟大学名誉教授、同年新潟日報文化賞受賞 専門は河川工学・土木史、自然と人の関係、川と人の関係を地域住民の立場を尊重しながら研究している。著書に、

- ・「利根川治水の変遷と水害」（東大出版会、1981）、
- ・「洪水と治水の河川史」（平凡社、1988、文庫本 2007）、
- ・「川がつくった川・人がつくった川」（ポプラ社、1995）、
- ・「技術にも自治がある—治水技術の伝統と近代—」（農文協、2004）
- ・「社会的共通資本としての川」（東大出版会、2010、編著）、
- ・「みんなの潟学」（新潟市、2018、編著）、
- ・「洪水と水害をとらえなおす—自然観の転換と川との共生」（農文協、2020）などがある。



撮影：横関一浩 2020